

日本大学 桜樹会会報

第 9 号

昭和48年5月

日本大学 桜樹会

# 目 次

会員総会議事録	2
事業及び行事報告	3
体操部行事報告	4
決 算 報 告	6
48年度新役員	7
事業及び行事計画	7
48年度予算	8
中国選手団の初練習をみて	9
リガ国際大会を省りみて	9
リガ国際大会に参加して	10
沖縄復帰特別国体	11
初期合宿所の生活を語る	12
ドイツ国立体操学校に入学して	13
桜樹会に入会して	17
競技会成績	18
体操部新入部員	19
大学に入学して	20
ゴルフコンペ成績	22
会費領収について	23
編 集 後 記	24

# 昭和47年度会員総会議事録

日時 昭和48年3月18日

午後1時～5時

場所 日本体育協会 501会議室

出席者

顧問 門脇 春男  
35年卒 石井 征也, 稲橋 恒行  
36年卒 平川 文雄, 堀田 淳二,  
吉川 輝  
38年卒 菊地 君男, 高田 信興,  
早田 卓次,  
39年卒 小松 武雄  
40年卒 鶴見 興人  
41年卒 海谷美代子  
43年卒 朝倉 徳雄  
44年卒 津村 二郎  
45年卒 椎野 芳挙, 網島 路正,  
原 弘吉  
46年卒 相原 和明, 朝倉 康雄  
47年卒 石井 悦夫, 宇佐美典久,  
佐々木 巖, 原尾 信行  
48年卒 青木 文治, 岩本 英雄,  
外山 宜男, 山崎 雅昭

以上27名, 委任状89名

挨拶 会長 稲橋 恒行

// 顧問 門脇 春男

議長選出 石井 征也

書記選出 小松 武雄, 海谷美代子

## 1. 報告事項

### (1) 47年度事業及び行事報告

桜樹会関係(鶴見)本誌P3参照

体操部関係(早田)本誌P4参照

### (2) 47年度決算報告(菊地)本誌P6参照

### (3) 会計監査報告

○監査の結果, 相違なきことを確認する(石井)

○以上(1), (2), (3)について承認。

## 2. 協議事項

### (1) 会則改正について

○はじめに鶴見氏より, 前年度総会において改正された箇所を確認のための読み上げがある。

○次いで, 各条項についての改正の必要ありか否かを協議した結果, 改正の必要なしとなり, 現会則を承認。

### (2) 役員改選

会長 稲橋 恒行

副会長 石井 征也, 平川 文雄

○選出経過

会長については, 全会一致で留任決定。

副会長については,

第1案: 石井(第1回卒), 堀田 吉川, 平川(以上第2回卒)のうちから2名選出。

第2案: (イ)留任

(ロ)石井, 堀田

(一) 体協の事情に詳しい人、

吉川、平川

(二) 若手一人を加える。

(三) 創立当時のメンバーの

中から。

先ず、1案と2案の採決が行なわれ、1案に決定、次に1案の4氏について挙手による採決の結果、上記2氏に決定。

### (3) その他

○新入会員の報告

(イ) 今年度卒業生 17名

(ロ) ビアニスト 若林みどり

○準会員は、本人より連絡があり次第正会員として認められる。消息をご存知の方は、総務又は、部の方へぜひご連絡願いたい。(総務)

### 3. 48年度事業及び行事計画

体操部関係(早田) 本誌P7参照  
桜樹会関係は、予算案も含めて、新幹事会にて討議し発表する。本誌P7参照

## 昭和47年度事業及び行事報告

総 務

1. 会報の発行 第7号 47年 5月

第8号 47年 11月

2. 会員名簿の発行 47年 11月

3. 親睦会の開催

(1) 各種大会地における親睦会の開催

東日本インカレ(上尾市)

全日本インカレ(福井市)

全日本選手権(米子市)

国 体 (鹿児島)

(2) 第9回忘年会

47年 12月 2～3日 奥秩父

参加 17名

(3) ゴルフコンペ(第2回～第4回)

第2回 47.9.1 戸田カントリー

参加 15名

第3回 47.11.13 錦ヶ原カントリー

参加 8名

第4回 48. 2.22 紫カントリー

参加 14名

4. 第3回桜樹スキースクール開催

48年 1月 2～5日 赤倉温泉 参加 21名

5. 第26回全日本選手権大会参加

(男子チーム)

監 督 稲橋恒行

チームリーダー 早田卓次

選 手 高橋正典, 中谷秀明,

徳永富夫, 原尾信行

牧川明生,

6. その他

(1) リガ遠征 47.4.19~26

審判員 海谷美代子

ミュンヘンオリンピック 47.8.

女子コーチ 上野剛

(2) 第3回TBS杯, 当番校として大会運営に協力

(3) 東日本, 全日本インカレ, 全日本, 新人戦等, 審判員派遣及び応援

(4) 一種審判員認定試験に多数受験合格者

男子 門脇 隆(岩手第10回卒)

近藤 明(東京第10回卒)

津村二郎(東京 " )

渡部宣裕(東京 " )

宇野正信(山形第11回卒)

川口 潔(秋田 " )

藤田純一(東京 " )

女子 津村多賀子(東京第11回卒)

稲谷清子(和歌山第12回卒)

(5) 幹事会

47年 4月11日, 7月13日

10月13日, 11月10日

48年 3月8日 以上5回招集

## 昭和 47 年度体操部行事報告

指導部 早田 卓次

47.3.13~18 春季合宿 千葉県銚子市

参加 80 余名

4. 2 第3回TBS招待競技会

駒沢 男・女団体 2位

4.15~16 オリンピック第2次予選会

伊勢市

4.22~27 リガ大会 ソ連リガ

(遠藤, 海谷)

5. 4 新入生歓迎会 高尾山

参加 90 余名(新入生 38

名)

5.13~14 オリンピック最終予選会

(女子)日体大, 駒沢

宮本 4位, 矢部 6位

6. 3~4 オリンピック最終予選会

(男子)日大講堂

五十嵐 9位

6.17~18 東日本インカレ 上尾市

団体 男女 2位

個人 男子 五十嵐 1位

梶山 2位

女子 宮本 3位

7. 6 オリンピック代表選手壮行

会 日大文理食堂

遠藤, 上野, 矢部, 宮本

7.20~23 全日本インカレ 福井市

団体 男女 2位

個人 男子 五十嵐 1位

梶山 3位

女子 矢部 4位

- |             |                |             |               |
|-------------|----------------|-------------|---------------|
| 8. 2～       | 5インターハイ視察 米沢市  |             | 宮本 5位         |
|             | 遠藤, 土屋, 高田     | 1 2.1 4     | 合宿所入替戦 日大文理   |
| 8.1 5       | オリンピック選手団出発    | 1 2.1 6     | 1種審判講習会 日大文理  |
| 8.1 9～2 0   | ジュニア選手権大会 駒沢   | 1 2.1 6～1 7 | 関東新人戦         |
|             | 梶山 1位          |             | 団体 男子 1位      |
| 1 0.1 3     | 体操部総会(新役員発表)   |             | 女子 2位         |
|             | 日大文理食堂         |             | 個人 男子 前山 2位   |
|             | 男子 女子          |             | 松山 4位         |
|             | 主将 住広 晃 矢部 信恵  |             | 鈴木 4位         |
|             | 総務 土屋史郎 高田ゆり子  |             | 女子 下田 2位      |
|             | 学連 中島 清 青木 久実  |             | 山本 4位         |
|             | コーチ 大木米男 西野 晴久 | 1 2.2 0     | 体操部納会 日大文理    |
| 1 0.1 5     | 東西対抗 駒沢        | 4 8. 2.2 4  | 卒業生送別会 下高井戸整  |
|             | 男子 梶山 1位       |             | 美楽 90名参加      |
|             | 女子 矢部 4位       | "           | 送別試会          |
| 1 0.1 8     | 体育学科体育祭 日大文理   | "           | 昭和47年度最優秀選手発表 |
|             | ミニトランポリン発表     |             | 五十嵐健夫(4年)     |
|             | 部員70名          |             | 西巻 洋一(2年)     |
| 1 0.2 0～2 6 | 国体視察 鹿児島       |             | 梶山 広司(1年)     |
|             | 遠藤, 早田         |             | 松山 禎一(1年)     |
| 1 1.1 6～1 9 | 全日本選手権大会 米子市   |             | 鈴木 一弘(1年)     |
|             | 団体 男子 7位       |             | 矢部 信恵(3年)     |
|             | 女子 2位          |             | 山本 恭子(1年)     |
|             | 個人 女子 矢部 3位    |             |               |

# 昭和 47 年度 決算 報告

## 収入の部

項目	47年度予算	47年度決算	備 考
会 費	236,000	181,000	過年度分 47,500    47年度分 128,000 48年度分 5,500
雑収入	58,000	81,250	寄付金 29,000    実演 25,000 TBS杯役員補助金 24,000    親睦会余剰金 3,250
合 計	294,000	262,250	

## 支出の部

項目	47年度予算	47年度決算	備 考
補助費	50,000	21,120	東日本, 全日本インカレ等体操部に対する補助
会議費	10,000	7,578	総会, 幹事会, 室代等
事務通信費	40,000	26,885	会報 7号送料 11,935    国外発送料 8号名簿送料 11,055    その他 3,895
印刷費	5,000	15,100	各種通知, 同意書, 申込書他
雑 費	5,000	6,225	口座手数料 3,280    事務用品他 2,945
借入金返済	41,817	41,817	46年度借入金返済
競技部	52,000	32,900	選手登録料 5,400    全日本参加料等 8,000 全日本参加選手ユニフォーム代補助 19,500
編集部	65,000	69,800	会報 7号印刷代 28,100 " 8号 " 21,900    会員名簿 19,800
審判部	5,000	1,320	通知書
指導部	5,000	0	
予備費	15,183	36,000	リガ遠征, オリンピック選手役員饗別 30,000 45年度全日本参加選手ユニフォーム代補助残金 6,000
繰越金		3,505	
合 計	294,000	262,250	

昭和 47 年度収支決算を以上の通り報告いた 監査の結果, 相違なきことを確認する。  
 します。 昭和 48 年 3 月 18 日

昭和 48 年 3 月 18 日

日本大学桜樹会会計監査

日本大学桜樹会総務

石 井 征 也

菊 地 君 男

堀 田 淳 二

鶴 見 興 人

## 48 年 度 新 役 員

会 長	稻橋 恒行(第 1 回卒)	( "	海谷美代子(第 7 回卒)
副 会 長	石井 征也( "	(指導部担当)	早田 卓次(第 4 回卒)
	平川 文雄(第 2 回卒)	"	木村 多喜( "
幹 事 長	吉川 輝( "	(審判部担当)	小栗 郁郎(第 5 回卒)
総 務	菊地 君男(第 4 回卒)	"	近藤 明(第 10 回卒)
	鶴見 興人(第 6 回卒)	"	津村多賀子( "
会計監査	堀田 淳二(第 2 回卒)	ブロック幹事	
	芳尾 明( "	北海道	中島 元(第 5 回卒)
幹 事	上野 剛(第 4 回卒)	東 北	宇野 正信(第 11 回卒)
	高田 信興( "	関 東	刈込 和男(第 7 回卒)
	中原 剛(第 7 回卒)	東 海	河内余志子(第 14 回卒)
	朝倉 徳雄(第 9 回卒)	北 陸	船木 政明(第 8 回卒)
	津村 二郎(第 10 回卒)	近 畿	小柴 守夫( "
(競技部担当)	原 弘吉(第 11 回卒)	中 国	常井 晴道(第 9 回卒)
"	五十嵐健夫(第 14 回卒)	四 国	山崎 智彦(第 8 回卒)
(編集部担当)	小松 武雄(第 5 回卒)	九 州	堀田 敏明(第 10 回卒)

## 昭 和 48 年 度 事 業 及 び 行 事 計 画

(桜樹会関係)

1. 会報の発行 第 9 号, 第 10 号
2. 会員名簿の発行
3. 親睦会の開催
  - ①現役部員との交歓会
  - ②ゴルフコンペ 6, 9, 2 月
  - ③忘年会 12 月第 1 土曜日～日曜日
4. スキースクール開催  
49 年 1 月 3 日～5 日 場所未定
6. 審判講習会 (2, 3 種) 期日未定

文理

6. 会員総会 49 年 3 月第 3 日曜日  
体協

(体操部関係)

3. 2 4 TBS 杯予選会
3. 28～<sup>4</sup>/<sub>3</sub> 春季合宿 日大三島
4. 6～7 国際競技会(リガ大会)リガ  
4.1 2～15 " (日ソ対抗)  
レニングラード
- 4.2 1 関東学生演技発表会 駒沢



- |         |  |          |                                     |
|---------|--|----------|-------------------------------------|
| 4.22    | TBS杯招待競技会<br>東京都体育館<br>下旬 東日本インカレ予選会 文理              | 8.21     | ジュニア大会 大阪<br>9下旬 全日本選手権第1次予選会<br>文理 |
| 5.3~6   | 沖繩特別国体 那覇市   | 10月上旬    | 全日本選手権第2次予選会<br>文理                  |
| 5.5~6   | ユニバーシアード予選会 駒沢<br>中旬 全日本インカレ第1次予選会<br>文理<br># 新入生歓迎会 | 中旬       | 体操部総会                               |
| 6.1~3   | 東日本インカレ 米沢市<br>月上旬 全日本インカレ第2次予選会<br>文理               | 10.14~19 | 国民体育大会 船橋市                          |
| 6.15~17 | NHK杯 横浜  | 10.20~21 | 学生東西対抗 京都市                          |
| 7.19~22 | 全日本インカレ 駒沢   | 11.1~4   | 全日本選手権大会                            |
| 8.3~5   | インターハイ 静岡  | 11.17~18 | 関東新人戦 駒沢                            |
| 8.15~19 | ユニバーシアード大会 モスクワ                                      | 11.24~25 | 73'中日カップ国際競技会<br>名古屋                |
| 8.18~19 | 全日本中学生競技会 名古屋  | 12.      | 1種審判員研修会 東京<br>体操部内選手権大会(納会)<br>文理  |
|         |  | 2.       | 卒業生送別会(送別試合) 文理                     |

## 昭和 48 年 度 予 算

### 48.4.2.4 幹 事 会 決 定

#### 収入の部

項 目	内 訳	予算額
会 費	48年度会費 205名分 (既納者, 準会員, 免除者を除く)	205,000
合 計		205,000

#### 支出の部

項 目	内 訳	予算額
補 助 費	本会, 体操部	30,000
会 議 費	総会, 幹事会室代等	10,000
事務通信費	会報, 名簿送料他	30,000
印 刷 費	各種通知等	10,000
雑 費	事務用品等	5,000
競 技 部		10,000
編 集 部	会報, 名簿印刷費	80,000
審 判 部	通信費等	5,000
指 導 部		5,000
予 備 費		20,000
合 計		205,000

## 中国選手団の初練習をみて

門 脇 春 男

アメリカ遠征の途中、日本に立寄った中華人民共和国の体操選手団31名が、5月17日(木)午後1時～4時30分、オリンピック記念研修館で、約3時間30分にわたり初練習を行なった。軽いウォーミングアップのうち、直ちに男子8名を各2班づつに分け、日本の学生選手も加えて、ゆか、あん馬、跳馬、段違いと練習を始めた。男子は、日本の選手よりも背が高く、胸の厚みを感じられ、力強さとグイナミックな技は日本の学生のトップクラスの実力とみた。

女子は色白で脚の長い、十分鍛えられた厚い胸と、そして血色のいい顔は美人で、とてもわれわれが想像もできないくらい立派なプロポジションであった。

技においては、主将格の、リー・シーアンシヨのものはずばぬけて上手で、跳馬での

つま先の回転スピードの速さ、段違い平行棒での低棒とび出し2回ひねり、また、平均台での側転から片手倒立、前転とびの技など、驚嘆に値するものが多くあった。実力は日本女子を完全に上まわる力を有していた。

1962年のブラハールの世界選手権大会以来、姿を消して世界の孤児となりながら、主流から全然はずれることなく、トレーニング法、採点法をとってきた中国体操関係者の研究熱心さには、敬意の念と驚異を感じた。

中国チームは、6月中旬、もう一度日本へ立寄ることになっているが、この機会を生かし、是非公開練習、または日本チームとの対抗戦、エキジビションをやったらと願うのは、ひとり私だけではないだろう。日中の交流が時間の問題となっている昨今、この機会を是非生かしたいものである。 48.5.22

## リガ国際大会、日・ソ対抗

### 日・東独対抗戦を省りみて

女子コーチ 木村多喜

4月3日朝、鶴見修治団長以下選手役員21名と、中日新聞加藤スポーツ事業部長、東海テレビ橋本報道部副参事をチーフとする報道班4名の大世帯で、羽田発モスクワへ向う。4月6日～8日、ソビエト連邦ラトヴィア共和国の首都リガ市で行なわれた国際選抜体操

競技会に、審判員として参加した。バルド海に面してコペンハーゲンに近いせいか、西欧のムードがただようこのリガ市で行なわれる競技会は、毎年秋、日本で行なわれる中日カップ国際選抜競技会とパートナー制をとっており、世界で最も注目される選抜競技会である。

参加国は18ヶ国、男子41名、女子41名と世界の強豪が集った。ほとんどの国が、13~20才位の、ピチピチした若手を揃えており、演技も素晴らしいものだった。

この大会は、71年に第1回を行なったもので、今回は第3回目、私自身、多少不安ではあったが、昨年参加した海谷さん(会員・41年卒)に事情を聞いて、それなりの勉強をして参加した。

私は跳馬の審判を行なったが、傾向としては、世界的な流行技の山下とびに、ひねりを加えたものや、新しい技として塚原とび、前転前宙とび、特にひねり系の技が多く、採点の上からも大変有利なように感じられた。

個人優勝したゴリコワ・タチアナ選手(22才ソビエト)の演技はさすがである。

4月11~12日、レニングラード市での日・ソ対抗は、ソ連が若手勢でかため、層の厚さをさまざまな思い知らされた。若い選手ではあるが、彼女達は実によく鍛えられており、日本選手とは大分違っていた。特に彼女達のすべてが、膝、つま先がきれいに保たれており、いわゆる姿勢欠点が全く発見できな

かったのには驚ろいてしまった。採点しながらも、感嘆の気持でいっぱいだった。日本は、なによりも、まずプロポーションを良くすることが重要であることを痛感した。強靱にして柔軟な身体と、矯正されたつま先、膝がすっきりと伸び切ったそんなスタイルの人が、体操界には欲しい。

4月14~15日、東独チームとの試合をベルリンで行なり。ミュンヘンオリンピックで活躍したヤンツ、エリカ等は引退し、それに代る若手のクレッケル・シュテファイ(13才)、トランド・ジークリート(15才)の活躍はすばらしいものがあった。特に、跳馬、段違い平行棒の強さは抜群のものがあり、日本の再建策を考える時、われわれは今後どのような強化策を打ち出していったらよいか本当に迷ってしまう。

今回の遠征で一番考えさせられたのはこの点であり、日本としては、スタイルのいゝ子を早期トレーニングで鍛えるしかないのではないだろうか。

## リガ大会 日・ソ対抗

### 日・独対抗に参加して

矢部 信恵 (4年・女子主将)

今回の遠征のための合宿の初日に、残念なことに右ひじを痛めてしまい、満足のいく練習ができないまま、不安な気持で出発しまし

た。

リガ大会では、やはり練習不足がたたったのか、平行棒に失敗してしまいました。多く

の国から参加していましたが、みんなますます上達しているように思われました。

数日後、レニングラードで、日・ソ對抗試合が行なわれましたが、この大会では痛めたひじもずい分良くなり、割り合い失敗もなく、不難にやれましたが、ソ連選手の演技はあまりにもすばらしく、一緒に演技するのが恥ずかしいくらいでした。

対東独戦では、ヤンツもツホルトも引退してしまい、そのうえ、東独第1のヘルマンは出場しないと聞いて、いくらか期待を持った

のですが、いざ試合がはじまりますと、ヤンツに続く選手がたくさん育っていて、とても歯が立ちませんでした。

今回の遠征に参加して、私は私なりに、多少けがをしていても、やればできるという自信をもてたのは収穫だったと思います。しかし、自分の技術の未熟さをいやというほど知らされたことも事実です。今後この経験を生かし、ますますがんばりたいと思っています。

と同時に、若い選手も大いに努力して、成長してほしいと願っております。

## 沖 縄 復 帰 特 別 国 体

門 脇 春 男

昭和47年5月15日、長い間のアメリカの統治下にあった沖縄が日本にかえってきた。この復帰を祝して、1年後の48年5月3～6日の4日間、那覇市を中心とした各会場で、21種目の競技が参加3,400名の選手によって行われた。体操は、新装なった奥武山(おゝのやま)の県立体育館で行なわれたが、完成したのが4月中頃、実際使用できたのは5月1日からである。学校には体育館があり、プールがあるというわれわれの感覚からすれば、練習はいつでもできるものとするが、こゝ沖縄では通用しない。とにかく器械がなく、勿論体育館で練習なんて考えられない。全くの逆境のところである。3年前の私歌山でのインターハイでその実情を知った私達は、日本体操協会に働きかけ、全国に檄を

とばし、約300万円のお金を基金として、復帰前に新しい体操器具を一式贈った。現地のひとびどのよろこびは大変なもので、その後、沖縄体操チームは順調に伸展をとげ、インターハイ、国体では常に上位に入るようになった。若い指導者は自分の全てを体操に捧げ、この記念大会を迎えた。本当に立派な、後味のいゝ大会であった。

参加チームは、一般男子10、高校男・女各10チームづつの計30チーム、150名の選手で競技が行なわれた。

競技の終わった5月5日、午後8時から、真玉橋(まだんばし)近くの東光ホテル(第14回48年卒 赤嶺芳弘君の家)で桜樹会を開催した。

出席者

宮川早苗(第13回卒 福井)  
 椎名昇(同 千葉)  
 橋口泰武(第8回卒 千葉)  
 赤嶺芳弘(第14回卒 沖繩)  
 藤沢秀男(現役 秋田)  
 中村栄喜(同 秋田)  
 庄司忠男(同 千葉)  
 仲西盛光(第6回卒 沖繩)  
 門脇春男  
 宮川和三(現役 熊本)  
 馬場祐三(同 熊本)  
 野原秀安(同 沖繩)  
 椎名厚(同 秋田)

特別招待

千葉県チーム

大野秀夫, 森岡俊明, 齊藤達雄

互いに酒をくみかわし、歌を唄い、試合の話に花を咲かせ、昔ばなしに手をたゞきながら夜のふけるのを忘れた。特に赤嶺君のお父さんの手品はプロ級で、みんなもびっくり。空手の披露もあり、たのしい、たのしい一夜であった。次回の千葉国体での再会を楽しみに、南国の夜をとじたのである。 48.5.10

沖繩国体成績

一般男子	高校男子	高校女子
千葉442.70	群馬437.20	福井284.15
愛知440.60	沖繩432.00	山形281.85
沖繩437.90	島根402.05	東京276.80
新潟430.40	鹿児島396.95	香川266.75
熊本422.30	宮城395.85	大阪265.55
秋田420.70	神奈川389.55	長崎262.65

## 初期合宿所の生活を語る

芳 尾 明 (36年商学部卒)

33年春、閑静な赤堤の住宅街を背景とした仕舞屋に生れた合宿所は、われわれの安住の地であった。年令28才、青年の意気に燃える門脇先生、最上級生である現会長の稲橋さん、それにキャップの石井さんを支柱として、約15名余りで構成されていた。

当時われわれの目標は、言うまでもなくインカレで優勝することであったが、奮闘むなしく第3位であった。しかし、成績はともあ

れ、合宿所の雰囲気はいつも和気あいあいとしたものであり、素朴な人間関係があったように思う。現在の合宿所のように広大な建物とは比較にならない、云うならば平凡な中流合宿所ではあったが、それだけに家庭的雰囲気味が味わえた。時には、実に他愛もないことからケンカがはじまったりもした。

夏の夜、熟睡している仲間を素裸にして赤インクを塗りたくって素知らぬ顔をしている

者がいるかと思えば、塗られた方もそのまま銭湯に出掛けていって衆人をおどろかすようなことを平気でやったりした。朝起きてパンツがない、あわて探しまわると見当らない、朝食の時ふと気がつくと、頭の上の電灯の傘にへばりついていて、などという話は日常茶飯事のことであった。食事をしながら、トイレの順番を大声で叫んでは、炊事の世話をしてくれていた通称ケベコのおばさんにたしなめられたりもした。

こんな仲間が、現在では父親となり、愛妻家であり、社会人としてもそれぞれの分野で活躍している。今思えば、これも青春であり非常になつかしい時代であった。

友情のない人は、ケンカを避けるために離れていくという。ケンカするほど仲が良いとも云われるが、合宿所生活での仲間は、人間として真のふれ合いがあったと思う。

34年、合宿所は杉並の浜田山に移った。共に生活されていた遠藤先生は、世界の檜舞台で第一人者の地位を築かれ、続いて早田君は金メダルを獲得した。文字通り同じ釜の飯を食った仲間がみごとな成果を上げた時の喜び、感激は筆舌に尽し難い。常にお互いの胸には美しい友情の交流があり、スポーツを通じてはぐくまれた人間愛こそは真実のものであると、われわれは誇示したい。

## ドイツ国立体操学校 (Deutsche Turnschule) に入学して

今 村 悟 (昭和43年体育学科卒)

4ヶ月間にわたるドイツ語の勉強を、「ポツバルト」という小さな町でおえた私は、4月9日、フランクフルトにあるドイツ国立体操学校 (Deutsche Turnschule, 以下略D.T.S.) に無事入学することができた。今年の2月に訪れて入学したい旨説明すると、校長のデイクフート氏は快よく迎えてくれ、「いつでも来てよい」との返事をもたらしたものである。この学校には、以前日本チームも寄っていたので、校長のデイクフート氏と遠藤先生が知り合いだったことも幸いして、先生に推薦状を書いて戴いた

ことが大きな力となった。

昨年の9月で学校 (日本大学理工学部) を退職した私は、いろいろの手続き、挨拶まわりなどに時間を費し、11月25日、快晴の羽田空港をぶじ飛び発った。南廻り24時間の旅は全く退屈で、カイロ到着まで夜ばかり、外を眺めても星しか見えず、しかも食事は空港に到着する度に運ばれてきて、外にも出れないので相当まいった。その影響が大きく、ドイツに到着しても一週間は時差の関係もあって体はおかしく、また食事はジャガイモのふかしたものとあげたものばかり、これから

先どうなるものかと心細い思いをしたものである。

しかし2ヶ月も過ぎると元気も快復し、気持ちのうえでも余裕がでてきて、充実した生活を送れるようになった。言葉は片言でも生活には困らなかった。やはり慣れである。

こうしてゲーテ協会での4ヶ月が、あっという間に過ぎたわけであるが、今更ながら、ドイツ語の難しさを痛感した4ヶ月でもあった。特に発音には相当悩まされ、現在でもLとRの違いでは苦労している。

4ヶ月間には、ドイツ人の友達も沢山できたが、私がドイツ語を喋れないものだから、

「君は英語を話すか？」と聞かれ、いつも「Nein」と答えなければならぬ悔しさは忘れられない。ドイツ人の<sup>1</sup>/<sub>4</sub>近くは英語を喋れるし、ギムナジウム(日本の中高校にあたるものでこれを卒業しないと大学にいけない)、大学生は全員喋れる。私は、これからはスポーツ選手であっても、英語か他の言葉を読めるようにならなければと、痛切に感じた。

こうしてポッパルトを離れた私は、フランクフルトに移った。ではまず、フランクフルトの説明から。正式名は「Frankfurt am Main」といって、ライン河の支流メイン河に沿った、ソーセージ(Wurst)とアップルワイン(Apfel Wein)の本場である。西独第6の大都市で人口70万人、中央部に位置し、空の表玄関であり、Frankfurt am Main空港はロンドン、パリに次いで、ヨーロッパ第3

の乗客数を誇り、その施設はドイツの規模である。気温は現在(4月)でもスチームが一日中入っており、非常に寒い。しかし、ドイツではこの地方が一番暖いといわれている。フランクフルトは、ドイツ経済、金融の中心地で、毎月各種の見本市が開かれており、多くのホテルは常時いっぱいである。有名な銀行の本店はほとんどここにある。

またフランクフルトは、文豪ゲーテの出身地としてその名を世界に知られており、町のあちこちにゲーテの像や、名がついており、彼が青年時代を過ごした家は、今では観光客がたえない。

しかし、このようなフランクフルトも、決して住みいい町ではない。ドイツ人でさえ、「ドイツで一番住みにくい町」と言っているのである。現在ドイツは、労働力不足に悩まされ、それを外国人労働者で補っているが、国内には何と200万人もの外国人労働者が働いており、その大半は、トルコ、イタリア、ユーゴ、ギリシャ人である。

フランクフルトの中央駅には、ドイツの町かどうか疑いたくなるくらい外国人が多く、ほとんどが中流以下の服装をし、男でさえ恐ろしくなるような暗い印象を与えている。

また、町のいたる所が工事中で、「ドイツで一番きたない町」との酷評もされている。

そんな悪い印象のフランクフルトもD.T.S.がある場所は、中央駅から市電とバスで30分位の所にあり、森に囲まれ、まわりにはスポーツ施設のほとんどがある。

まず、D.T.S.の隣りに、ドイツ体育協会とヘッセン州立スポーツ学校(フランクフルトはヘッセン州に属する)があり、向い側には、来年ドイツで行なわれるワールドカップサッカーの施設として、今巨大なスタンドを建設中であり、その廻りには、サッカー場が5面位、テニスコートは何面あるかわからないほどである。それにプール、ラグビー場、屋外スケート場(夏季は競輪場)ハンドボール場 etc. 数え切れない位の施設である。

このようなすばらしい環境に囲まれたD.T.S.は、1961年に創立され、今年8月で13回目の生徒を迎えるわけである。

このD.T.S.は、スポーツクラブ指導員の養成と、体操選手養成の二つから構成されている。

私は将来、社会体育の方面に進みたいがこのドイツまで来たわけであるが、一応スポーツクラブ指導員の方に入っている。だが、二つは全く別ではなく、それぞれに練習と講義を行なっているだけであり、建物、宿舎は同じである。私は欲張って両方学びたいと思っているが、現在のところ余裕がないので、慣れてきたら体操のコーチングでも勉強していくつもりである。

今回の報告は、入学して日も浅いので、スポーツ指導員養成について書くことにし、体操の方は次回に報告したい。

さて、このコースは8月から始まる一年単位の、今は全員卒業試験をめざして必死である。ドイツ各地から男16名、女15名、計

31名が寄宿し、年令も18~35才とバラバラであるが、若い連中が多く、(私より上は5人位)楽しい雰囲気である。

私はD.T.S. から15分位の所にアパートを借りて通っている。全課目受講しているわけではなく、興味のあるものを受講しているので、朝早かったり遅かったりまちまちであるが、D.T.S. には毎日顔を出している。今のところ実技では「Turnen(体操)」、「Gymnastik(創作ダンスの一種で、素手、棒、ボールなどを使い、日本の新体操に似ている)」、「Spiel(意味は試合、遊戯であるが、主として球技を中心に行なっている)」、「Trampolin(トランポリン)」に、「それ」に「子供に対する体操の指導法」を受講しているが、今迄6年間、ほとんど動いていなかったので、突然しごかれて体が痛くて、毎日帰ったら寝るばかり。体操なんてほとんどできなくて、こっちに来て日本の恥をさらしているみたいで……。

学生の方は必死でもあるが、何人といっても彼等とはスタミナが違う。朝8時頃からの実技には、必ず45分位、準備運動を兼ねて室内でサッカーを行なう。それには、私は適当にまけないと次の体操や球技などがもたない。彼等のサッカー好きにはあきれる。もちろん女性も行なう。日本の野球と同じようなものである。

実技は、45分から普通2時間位、長い時は3時間位行なわれるが、それを絶体を守るのでこちらはフウフウ、早く終ることはなく、



時間にはものすごく厳格である。

実技はこの他、陸上 (Leichtathletik) と水泳 (Schwimmen) があるが、これは私は遠慮している。これまで受けたら私の体がこわれてしまいそうである。

そんなわけで、実技は大変苦勞しているが、近頃どうか慣れてきた。

では体操について述べてみよう。もちろん D. T. S. はこれに一番重点を置いており、週 3 回 (場合によっては 4 回) 行なわれる。Turnen, いわゆる体操競技で、男子 6, 女子 4 の全種目を行なっている。卒業試験は、規定演技 (基本的技で構成) と自由演技を各自が発表する。ほとんどが素人であり、必死にとり組んでいる。床では全員後転とびをやるし、(もちろん女性も)、平行棒ではツイスト、鉄棒で車輪、女性は、平均台で側転、下りの側宙などをこなし、素人だけにびっくりする位である。30 過ぎの「オヤジ」が必死になって、後転とびや車輪などを練習している光景は、大げさにいえば何か感動をおぼえる。決して型はさまにならないが、「これがドイツの厳しさか」と痛切に感じた。

さて、講義について簡単にふれておきたい。歴史、生物学 (いわゆる運動生理で、あらゆる意味が含まれている)、管理、組織学、律動学、練習場およびその建築学と器具学などである。(今は正確に訳せないので多少間違いがあると思う) これらをほとんど受講しているがまるで何を言っているのかわからない

状態である。しかし語学の勉強と思って 1 時間半の長い時間を真剣に聞いている。大体日本の大学と同じようなことをやっており、言葉がわかってくれば、そんなに難しいことではないと思っている。

どこに行っても学生は同じで、授業中はうるさいし、恋人同士が一緒に座ってちゃついでいる光景はしょっちゆみられる。

以上が大体の内容であるが、この他若干の実技と講義科目がある。こうして私は彼等と一緒に受講しているが、すぐ友達になることもできた。入学したその日から「お互いに名前前で呼び合え」といわれ、現在では「ザトル、ザトル」と呼ばれている。

「昼食は皆んを一緒にする。校長の計らいで私も国の援助がでて、安く食事することができるようになった。一番楽しいひとときである。

最近全てに慣れてきたので別に不自由を感じなくなり、毎日の生活がとても楽しい。時々日本にいる錯角を起すほどである。しかし何んといっても言葉が一番の障害なので、早くなんとかしたいと思っている。だが、こればかりは急にうまくなるものでもないし、一応、今年の 8 月までには、形なるドイツ語を話せるようになりたいと思っている。

私としては、来年の 8 月までこの D. T. S. で講習を受けたいと希望しているが、できるだけ長くいて、多くのものを学びたいと思っている。

最後になりましたが、出発に際し、皆様方

からの暖い励ましを深く感謝いたします。  
折をみてドイツの方にも便りをください。

Auf Wiedersehen!

'73. 4. 23

## 桜樹会に入会して

ピアニスト 若林みどり

私、若林みどりと申す者で、東京浅草の出身です。東京女子体育大学在学中の、昭和43年11月、盛岡の全日本の時からピアニストとして、日大体操部のお世話になっております。この度、桜樹会会員として、皆様のお仲間に入れて戴くことになりました。

かねがね各地の試合で、稲橋会長をはじめ、皆様方がお集りになるのを、とても美しいナと思っておりましたところ、昨年、米子市での全日本の際に、会長さんから「会員にならないか」のお誘いを受けました。「日大の卒

業生ではないのですが」「別に構わない」  
on! この嬉しさ、感激。もう迷わずに入会、そして早速1月のスキースクールに参加させて戴きました。

今まではともかく、これからは日大体操部史上に名を残すような、メイピアニスト(名?迷?)になりたいと思っております。

今後ともよろしくご指導下さいませよう、お願い申し上げます。

新入会員として、先ずはご挨拶まで。

## TBS招待競技会(対日体大定期戦)成績

4.22 東京体育館

男子団体総合	第2位	312.30点			第3位	西巻(3)	8.90		
種目別	ゆか	第3位	錦井(3)	9.10	鉄棒	第1位	西巻(3)	9.20	
	鞍馬	第1位	住広(4)	8.90		第3位	馬場(3)	9.05	
		第3位	川野(3)	8.65	女子団体総合	第2位	203.15点		
	つり輪	第1位	梶山(2)	9.30	種目別	平行棒	第1位	林田(3)	9.20
		第2位	市毛(4)	9.00		平均台	第2位	林田(3)	9.15
	跳馬	第2位	錦井(3)	8.775		ゆか	第2位	矢部(4)	9.15
	平行棒	第1位	梶山(2)	9.30		跳馬	第1位	矢部(4)	9.30

## ユニバーシード予選会

5.6 駒沢体育館

### 男子個人総合

第3位	梶山広司(2)	55.20
第5位	錦井利臣(3)	53.95
第11位	西巻洋一(3)	53.00

### 女子個人総合

第1位	矢部信恵(4)	36.75
第4位	林田房美(3)	36.15

## 体操部新入部員

池田 勝吉 (国学院久我山)	増田 均二 (日大土浦)
山田 民雄 (日大豊山)	松田 洋 (仙台育英)
浦田 明範 (鎮 西)	皆川 哲道 (浪 商)
大友 栄紀 (日大藤沢)	村上 秀宣 (仙台育英)
小貫 孝春 (仙台育英)	山本 一晴 (和歌山北)
加藤 英夫 (日大明誠)	湯原 清介 (日大岡山)
金山 直嗣 (唐津商業)	米須 進 (興 南)
神田孝一郎 (習志野)	和田 利一 (西 湘)
久保田一行 (法政二高)	石塚 弘子 (川 和)
黒崎 淑行 (横浜第一商業)	小川美弥子 (足利女子)
坂口 孝 (唐津商業)	小田 武子 (熊本中央女子)
佐藤 之俊 (日大山形)	門脇 文 (米子商業)
鈴木 正雄 (日大土浦)	斎藤 知子 (伊勢崎女子)
平良 洋 (興 南)	鈴木ちか子 (日太二高)
竹井 一夫 (日 南)	富松由三子 (和歌山北)
田島 清貴 (熊本工業)	保坂恵津子 (国学院)
千田 修平 (関 西)	三原加津子 (日大三島)
橋口 幸弘 (日大宮崎)	矢野万喜子 (由 利)
浜本 正夫 (盈 進)	山本 厚子 (紫 波)
平田 芳和 (暮 合)	

## 大 学 へ 入 学 し て

池 田 勝 吉

私が文理学部体育学科に入学してから、早業を受けているおかげで、だんだん理解できくも二ヶ月が過ぎようとしている。初めは、るようになってきた。  
とまどっていた教科内容も、毎日真面目に授ところで、私は日本大学体操部に入部し、

三月には三島で行なわれた合宿にも参加した。高校三年の後半以降、練習から速さかっていた私にとって、三島での合宿はかなりきつかった。しかし、一週間の合宿が終った時、何ともいえない良い気分であった。

四月末日には新入生歓迎会が多摩動物公園で行なわれた。新入生は男女合せて約50名、広場に腰を下して各々自己紹介をすることになった。しかし、場所が場所だけに、動物園に来た親子連れが珍らしそうに覗き込んでいく。まるで、動物園のバンダでもみているよ

☆ ☆ ☆

私が日本大学文理学部を受験した理由は、日大特有の総合性に魅力を感じたからです。文理学部という1つの学部には、当然のことながら、理科系を専門とする学科と、文科系を専門とする学科が多数あるので、そこに所属する学生との触れ合いによって、自分とは異なった物の考え方や感じ方をする人達のことを知り、同時に自分が広い視野で物事を考える人間になりたいと思ったからです。

入学してみると、案の定いまま出会ったことのないような人が、たくさんいました。しかし、これはまだ外見からだけの判断で、中身の方はまだわかりません。授業の時に、いろいろな人に話しかけてみたいのですが、何かとまどってしまい、結局はクラブの人としか話してないのが現状です。

人間は1人1人が違った考えを持っている

ような顔をしていた。順番がまわってきた時、私は既に度胸をきめて、できる限りの話をしてみた。このような経験も一つの勉強になったように思う。

大学では、友人としての学生や授業を受ける教員や、事務関係の職員等、社会的付き合いが大変多い。学生数も高校時代の数倍もいる。体操部を中心として、既に多くの友人ができた私は、この友人関係を最も大事にして大学生活を過ごして行きたいと思っている。

小川美弥子

といわれています。確かにそうだと思います。が、クラブのように同じ様な生活をし、同じ様な目標を持って毎日を暮している者同志というのは、似通った考え方をするのではないかと思います。ですから、いまのままでは、高校時代とあまり変わらないままの自分で、成長するのではないかと心配です。私とは違う専門分野を勉強している人の生活や考え方はどうなのか、ものすごく興味があり、知りたい気持ちでいっぱいです。そのためにも、日本大学文理学部を選んだわけですから、卒業するまでには、きつといろいろな人と話をし、凝り固まった考えをする私ではない私をつくりあげていきたいと思っています。

また、合宿所での生活は、今まで親のもとで生活していた時と別の考え方をしている自分に気付きました。それは、よく言われてい

る親のありがたさみたいなものです。家にいた時は、親の言うこと1つ1つがうるさく感じられて、早く1人の生活がしてみたいと思っていました。これは、まだ親というものはっきり認識できていなかったのだと思います。例えば、家に電話をかけると、きまってお金は間に合うかとか、ちゃんと勉強しているかとか、小さい子供を心配するようなことしか言いません。これに対して前の私でしたら、またかと思い、うるさく感じたのですが、

いまは違います。心配してくれる気持をありがたいとさえ思います。親が東京に出て来るなどと聞くと、迷ったりしないかとか、疲れるのではないかとか、逆に私の方が心配したりしています。

日大に入学して、1カ月余りたちますが、その間に考えたことや感じたことを書いてみました。

## 桜樹会ゴルフコンペ成績

第3回 47.1.1.1.3 錦ヶ原カントリー(埼玉)

	OUT	IN	OUT	GROSS	HDCP	NET	RANK	
山中	41	39	40	120	45	1115	7	優勝 阿部信博(39年体育学科卒 陸上部OB)
菊地	44	43	50	137	345	102.5	2	
※阿部	39	42	39	120	345	85.5	1	準優勝 菊地君男(38年卒)
朝倉	53	49	46	148	39	109	5	第3位 高田信興( " )
高田	51	47	48	146	405	105.5	3	B.G. 阿部 , B.B. 山中
鶴見	45	53	55	153	45	108	4	N.P. 鶴見 , D.C. 山中
※矢花	56	50	53	159	48	111	6	
工藤(道)	61	55	64	180	48	132	8	

※印は会員外参加

第4回 48.2.2.2 紫カントリーあやめコース(千葉)

	OUT	IN	OUT	GROSS	HDCP	NET	RANK	
稻橋	58	63	56	177	30	147	12	岩田 69 73 78 220 54 166 13
早田	52	54	63	169	42	127	8	岩本 75 79 71 225 54 171 14
山中	47	43	41	131	4.51	126.5	7	※阿部 46 49 49 144 13.5 130.5 9
橋口	60	58	59	177	54	123	4	朝倉 52 68 57 177 39 138 11
鶴見	57	53	51	161	45	116	3	※印は会員外参加
吉川	51	40	52	143	30	113	2	優 優勝 高田信興(38年卒)
津村	48	49	53	150	27	123	5	準優勝 吉川 輝(36年卒)
石井	55	65	60	180	54	126	6	第3位 鶴見興人(40年卒)
菊地	54	57	47	158	25.5	133.5	10	B.G. 山中, B.B. 岩田
高田	42	50	47	139	36	103	1	D.C. 津村, N.P. 朝倉, 山中

# 会費領収について

総務

47年10月21日以降、48年5月26日  
日現在までの納入状況

現金にて

47.1	2.17	常井晴道	3,000
48.	1.4	若林みどり	1,000
	1.16	伊藤繁	1,000
	2.5	人見省吾	5,000
	2.10	森山理	1,000
	3.8	木村多喜	1,000
	"	石井征也	4,000
	"	吉川輝	5,000
	3.18	平川文雄	1,000
	"	堀田淳二	1,000
	"	小松武雄	1,000
	"	原弘吉	1,000
	"	綱島路正	1,000
	"	朝倉康雄	1,000

3.18	佐々木 巖	1,000
"	鶴見 興人	1,000
"	外山 宜男	1,000
"	青木 文次	1,000
"	山崎 雅昭	1,000
3.20	金子 洋平	5,000
5.18	朝倉 徳雄	1,000
5.23	朝倉 徳雄	1,000
5.26	岩本 忠喜	1,000

口座にて

48.	1.5	海谷 美代子	1,000
	3.1	岩本 英雄	1,000
	3.5	遠藤 勲	1,000
	3.14	五十嵐 健夫	1,000
	3.27	森田 博	1,000
	3.30	河内 余志子	1,000
	4.17	田中 章二	1,000
	4.27	村上 吉正	1,000

“お知らせ”

昭和48年度会費納入期限は6月30日です。未納の方は同封の振替用紙を  
ご利用のうえ必ず納入して下さい。



## 編 集 後 記

今年も第1回目の会報を発刊する季節がやってきた。例年、第1回目の会報は目次が示す通り、報告誌としての性格が強い。

勿論、会報には、体操部と桜樹会の歴史を印す記録誌としての性格を有する。しかし、桜樹会会員にとってこの会報は、ただの報告誌にとどまることはない。

毎年、体操部から出て行く卒業生を新入会員として迎え、大世帯化していくこの桜樹会で縦と横の連絡をつけ、意思疎通の場として、時には何年、何十年ぶりに旧友や先輩、後輩と話ができ、顔を合せるきっかけをつくるのがこの機関誌である。記録誌と報告誌としての性格をもてば機関誌としては一応形はととのうが、それを更に一歩進めて、情報交換の

場として、会員相互の交流ができればどんなに素晴らしいであろうか。

今後、更に会報としての内容的充実を計るため、会員からの積極的な御意見を望みます。尚、会報に関する御意見や原稿は下記へ御送付下さい。

総務担当 菊 地 君 男

281 千葉県千葉市花見川3-12-302

— 鶴 見 興 人

214 川崎市多摩区生田2061-4

編集担当 小 松 武 雄

352 新座市大和田1632 6-8-206

— 海 谷 美 代 子

156 世田谷区赤堤 3-17-8 小菅方